

2018年8月7日(火) 14:00~16:00 東京(有楽町)

「コンセプチュアル思考」体験セミナー

次代の思考力、高めていますか？

コンセプチュアル思考不足による課題例

リーダー・マネージャー

- チームメンバーとともに自組織の存在意義／提供価値を考えたことがない。そのため求心力となる理念や言葉を共有していない
- 複数の価値がコンフリクト(葛藤)する状況にあるとき、いわゆる「ぶれない軸」で判断できるかどうか自信がない

製品サービス担当者

- 製品・サービスが、コモディティ化し、不毛な低価格競争に陥っている。どうやって商品に新しい目線を入れてよいかわからない。
- 成功の本質をモデル化して考える習慣がない

20~30代キャリア形成期

- 職業人としての自分のコンセプトがないため、逆算して、能力開発を具体的に考えられない。
- 目の前の仕事から「やりがい」を見出せない

40~50代キャリア形成期

- 担当業務のやり方・あり方がマンネリ化、旧態化しているが、新しい目線を入れ、新鮮な発想で組み直せない。

時代は益々「VUCA(ブーカ)」化し、ビジネス現場は正解のない問いだらけになっています。

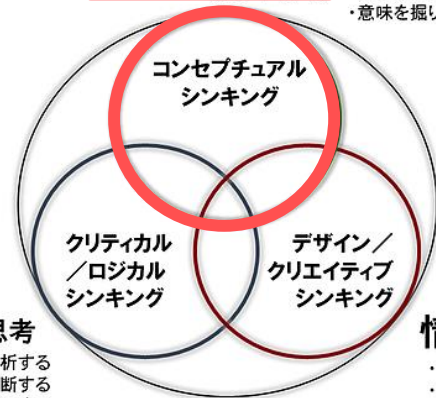
V olatility=不安定
 U ncertainty=不確実
 C omplexity=複雑
 A mbiguity=曖昧



コンセプチュアル思考とは、その物事が何であるかを捉え、正解値のない問いに、「**概念・意味・観を起こす**」もの

意の思考

- ・深く洞察する
- ・総合してとらえる
- ・意味を掘り起こす



知の思考

- ・鋭く分析する
- ・賢く判断する
- ・速く処理する

情の思考

- ・気持ちをくんで考える
- ・五感豊かに考える
- ・「美しい/快い」を表現する

「正解のない問い」への答え探しには、「**コンセプチュアル思考**」が必要です。

「コンセプチュアル思考」体験セミナー (2時間)

日程	2018年 8月 7日(火) 14:00~16:00 (受付13:30)
講師	村山昇講師 キャリア・ポートレートコンサルティング代表 (略歴裏面記載)
会場	東京国際フォーラム ガラス棟 G505会議室 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号 道案内: 03-5221-9040 当日事務局: 080-3246-6042
参加費・定員・対象者	無料(要予約)。24名。 人事部・人材開発部のご担当者様。同業者の方のご参加はご遠慮いただいております。

お申込: フォーコンパスラーニングファーム株式会社 営業担当者まで info@four-compass.com

体験セミナー内容

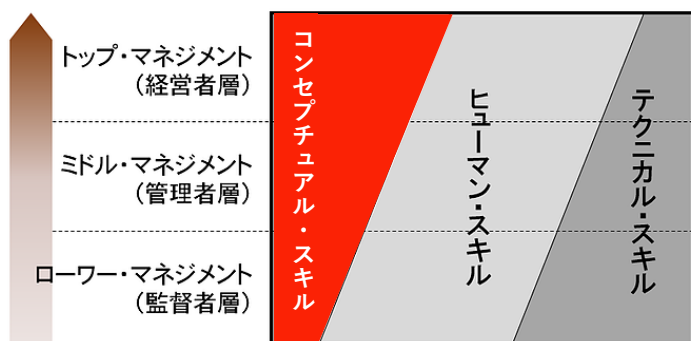
[ミニ講義]

- 「コンセプチュアルスキル」とは何か
- なぜいま「コンセプチュアルスキル」が重要なのか
- π (パイ) の字思考プロセス=抽象化→概念化→具体化
- 目的と目標の違い/ときに目的と手段の入れ替わりが起こるのはなぜか
- 真に強い事業は客観を超えて独自の主観的意志を持つ

[ミニワーク]

- 「成長」を定義する～抽象化・概念化による独自の観点を養う
- 「マジックポット・アイディエーション」偶発の「掛け合わせ」による概念創造
- 「私の提供価値宣言」～変化の中で自身の不変の軸を言語化する
- 「担当事業の在り方」を見つめなおす～知・情・意3つの融合観点から

ロバートカッツが提唱した3つのスキル



ロバート・カッツが「コンセプチュアルスキル」としてその重要性を提唱し、ダニエル・ピンクが著書『ハイ・コンセプト』の中で次代の鍵能力として挙げた **概念化の力を向上させる、希少プログラム**です。

1. 大手家電メーカー マネジャー職 40名
[実施目的] 事業全体を理念価値・ビジョンの観点から俯瞰できる能力を強化し、担当製品・サービスに独自のコンセプト軸を貫ける意志を醸成する
2. 大手ITシステム業 サービス担当者 30名
[実施目的] サービスがコモディティ化する中で、パラダイムを変えるようなユニークな発想力を鍛えること。および、事業への意味付与によるモチベーション向上。
3. 地方自治体 市職員課長職 50名
[実施目的] 市民や関係者の多様な価値観がコンフリクトを起こす状況下で、最善の方策を考え出すための全体把握力や目的構築力を養う

導入事例

村山昇講師 プロフィール

キャリア・ポートレートコンサルティング代表。組織開発・人財教育コンサルタント。概念作家。企業の従業員・公務員を対象に、「プロフェッショナルシップ」（一個のプロとしての基盤意識）醸成研修はじめ、「コンセプチュアル思考」研修、管理職研修、キャリア開発研修などのプログラムを開発・実施している。

【略歴】

1986年慶應義塾大学・経済学部卒業。プラス、日経BP社、ベネッセコーポレーション、NTTデータを経て、03年独立。94-95年イリノイ工科大学大学院「Institute of Design」（米・シカゴ）研究員、07年一橋大学大学院・商学研究科にて経営学修士（MBA）取得。

【研修登壇実績（敬称略、順不同）】

伊藤忠商事株式会社、ヤフー株式会社、アクセンチュア株式会社、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ、西日本旅客鉄道株式会社、川崎重工業株式会社、大日本住友製薬株式会社、大阪ガス株式会社、横河電機株式会社、株式会社ベネッセコーポレーション、株式会社あおぞら銀行、株式会社ジェーシービー、他多数



講師最新刊・
大手書店で平積み中